

麓山の杜 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

青空に映える黄色



ガーデニングのポイント

【水やり】 10月は、雨が少なく乾燥した状態が続いています。今年は、降雨がはっきりしています。植え替えた場合や鉢植えは特に水やりが大切です。これからの季節でも植物は水が必要です。水やりはたっぷりあげて、また乾燥したらあげるというメリハリが大事です。これからは、日中の暖かい時間帯に灌水をします。

【肥料】 多くの樹種は、この時期には必要ありません。あげてしまうといつまでも成長し続け、寒さの害を受ける場合があります。

【病害虫防除】 マツ類につくマツカレハ（マツケムシ）は、幹にコモを巻いておくと、ある程度は誘因補殺ができます。遅くなると効果はありません。現在は、冬の風情を楽しむ為の面が多々あります。アブラムシ、カイガラムシは、この季節でも活動しています。幹などについている時は、ブラシなどでこすり取りその後殺虫剤を散布します。病害虫のついた落ち葉などは、綺麗に掃き集め来年に持ち越さないようにします。冬越しの棲み処を無くすことが来年の発生を少なくする事になります。秋遅くなるとマツの葉が変色する事例を近年多く見かけます。スギ葉枯病や赤斑葉枯れ病などと病名は特定できませんが、環境の悪化がマツを弱らせてこの様な状態になっているようです。

11月のみどり講習会

日時：11月14日（土）10:00～12:00

場所：とんがりふれあい館（交流施設）ホール

内容：①記念樹の育て方初歩講座

②季節のワポ イトポ バイ

（冬の管理・寒肥について）

対象：記念樹申請者、受講希望者



植物も装いが変わりました

【剪定】 常緑広葉樹は、これからの時期はなるべく控えます。剪定すると、芽が出ない・弱い芽しか吹かないため冬越しで弱ってしまうなど来年の芽吹きが悪くなります。マツ類は、今年に伸びた枝は切らないようにしますが、古葉を落して枝を透かす時期となります。ヤニの出が少なくなるので樹勢を弱める事がなく綺麗に仕上げ冬越しをします。雪による枝折れも防ぎます。落葉樹は、これからが適期となります。太い枝を切るなどの強めな剪定が可能になります。切り口は癒合剤を塗って保護します。カエデ類は、なるべく早く剪定をします。花木は、来年の花芽がありますので、注意をして剪定をします。

【植え替え】 常緑広葉樹は、剪定作業と同じく来春まで待ちます。常緑針葉樹は、霜が何度か降りてからは可能です。落葉樹は、これからが適期となります。しかし、カエデ類は剪定作業と同じく早めに済ませます。遅れると樹液が出て樹勢が弱ってしまいます。少しでも活着率を高めるため①きっちりと根巻きをして土を崩さない②植え替え後は灌水や敷きわらなどをして乾燥させないなどに注意を払います。咲きだしたサザンカが園芸店に出回りますが、暖かい地方で生産された植物はこれからの寒さによって枯れてしまう場合が多々あります。観賞時期と植え替えの時期は、違うということです。

【防寒】寒さに弱い植物は、防寒作業が必要で鉢植えであれば暖かい場所に取り込みます。また、二重鉢にして「根」の凍結を防ぎます。雪の重みで枝が折れそうな時は、縄で結んだりして枝が折れないようにします。寒風や霜に弱い植物は、不綿布でカバーをします。その時大事なのは、冬でも日光が当たるようにすることです。

白のサザンカが、蕾をつけても咲かずに落ちてしまうという質問がありました。サザンカでも品種が「フジノミネ」は、時期が遅く咲くために蕾が開かずに終わってしまうのです。霜が降りるのが遅い年には、花を見ることができます。

毎年見るためには、不綿布で防寒をする必要があります。

【みどり講習会内容】

（植物にとって良い土壌とは？）

水やりが植物を育てる時には必要ですが、保水性と排水性が大事になります。この二つの条件は、相反するようですが両方を備える事が良い土の条件です。園芸の基本用土は、赤玉土7割、腐葉土3割といわれています。土は、団粒構造で隙間があると水が入りやすくなりまた出ていきやすくなります。水と一緒に新鮮な空気が、根に供給される事が大切です。鉢植えの場合は、小鉢の時は小粒の赤玉土を、大鉢の時は大粒の赤玉土を使います。有機質の腐葉土を混ぜる事によって団粒構造となり保肥力が増します。



【街で見かけた植物】

【カンボク】（スイカズラ科ガマズミ属）

日本各地に分布しますが特に東北・北海道の山地に多く見られます。3~5mに育つ落葉広葉樹です。5~7月にかけてガクアジサイのような白い花を咲かせます。花はヤブデマリに似ていますが葉が違うのですぐ見分けられます。葉はカエデのように分裂し秋には紅葉します。赤い実をつけますが落葉後にも赤い実が残り晩秋から初冬にかけて目を引きます。近縁種にテマリカンボクがあります。この品種は花がオオデマリのように総てが装飾花となって見事ですが、実はつきません。



** みどりのつぶやき **

綺麗に咲いている植物にも食べられるものがあり、栄養もたくさん含まれているものもあります。食べられるもので一番知られているのはローズマリーやパセリで、他にはツワブキ・葛・食用菊（黄・紫）などがあります。栗拾いやどんぐり集めなど視覚・味覚ともに楽しめる秋は、家族のコミュニケーションがはかれるいい季節です。園内のどんぐりや赤や黄色の落葉などでお子様と遊び、心も身体もあったかくしてみませんか。